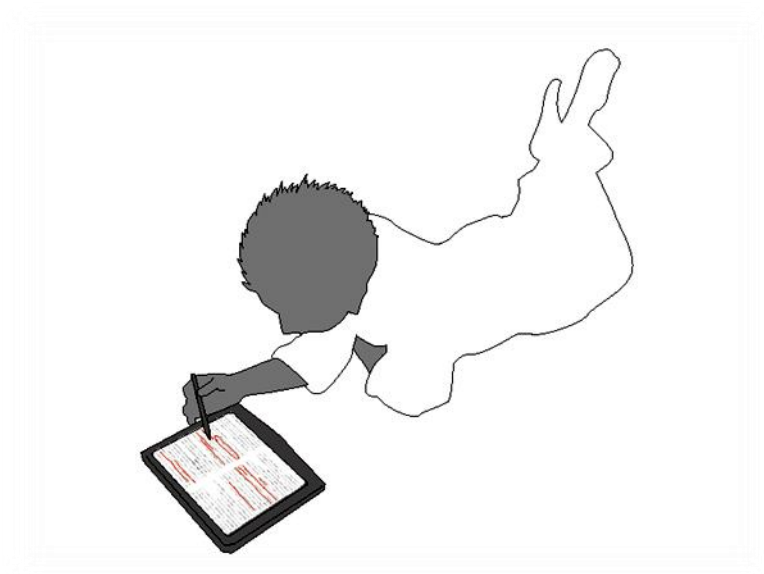


eJournalPlus 利用マニュアル

(バージョン : 1.1.0)



Microsoft chair of Educational
Environment and Technology
Center for Research and
Development of Higher Education
The University of Tokyo



東京大学
大学総合教育研究センター
マイクロソフト
先進教育環境寄附研究部門

eJournalPlus 利用マニュアル - 目次

1. eJournalPlus について	- 4 -
1.1. 本ソフトウェアの主な利用目的	- 4 -
1.2. 本ソフトウェアの特徴	- 4 -
1.3. 免責事項	- 4 -
2. 使用準備	- 5 -
2.1. 本ソフトウェアが利用できるオペレーティングシステムについて	- 5 -
2.2. (eJournalPlus をインストールする前に) .NET Framework 3.5 SP1 のインストール	- 5 -
2.3. eJournalPlus のインストール	- 5 -
2.4. eJournalPlus のアンインストール	- 5 -
2.5. XPSドキュメントの作成(「Microsoft PDF/XPS 保存アドイン」のインストール)	- 6 -
3. 各機能と使用方法	- 7 -
3.1. メイン画面	- 7 -
3.2. ejp ファイルとスタディについて	- 8 -
3.3. メニューボタン	- 9 -
3.4. ツールボックス	- 10 -
3.5. ドキュメントエリアでの下線引き	- 11 -
3.6. ナレッジマップエリアでの下線部分の構造化	- 12 -
3.7. レポートエリアでの文章編集	- 13 -
3.8. ナレッジマップとレポートの公開手順	- 15 -
3.9. 追加の XPSドキュメントや ejp ファイルの読み込み手順	- 16 -
3.10. ナレッジマップ間およびスタディ間のノードコピー	- 17 -
3.11. コメントモードを利用した相互コメント活動(ローカル)	- 18 -

3.12.	EJS サーバーを介した相互コメント活動	- 19 -
4.	トラブル シューティング	- 20 -
4.1.	使用中にアプリケーションが停止してしまった	- 20 -
4.2.	ejp ファイルが壊れて開けない.....	- 20 -
4.3.	XPSドキュメントを開けない(読み込めない).....	- 20 -
4.4.	ejp ファイルが入ったフォルダを移動できない.....	- 20 -
4.5.	Windows Live スペースに公開してもナレッジマップの図がアップロードされない	- 20 -
4.6.	レポートの印刷が画面上の表示と異なる.....	- 20 -
4.7.	コンピュータをスリープ後にエラーメッセージが表示される.....	- 20 -

1. eJournalPlus について

1.1. 本ソフトウェアの主な利用目的

eJournalPlus は、読解活動における文章内容の構造的な理解を支援することで、著者の主張や根拠で構成されるロジックを批判的に読み解き、自分の考えや意見を生成する能力の育成を目的とした学習支援ソフトウェアです。

1.2. 本ソフトウェアの特徴

eJournalPlus は、.NET Framework 3.5 SP1 をベースにして開発されたデスクトップアプリケーションです。本ソフトウェアには、読解および学習活動を支援する特徴として、次の4つの機能を有しています。

特徴1) 電子文書への下線引き・コメント機能

Microsoft 社から提供されている XPS フォーマットの電子文書に下線引き、コメントを付加できます。本機能により、文章中の重要な情報へのマーキング活動を支援します。

特徴2) 下線部分を構造的に整理できるナレッジマップ機能

下線部分のテキストをノード(テキストボックス)に変換し、これをナレッジマップ上で構造的に整理できます。ナレッジマップとは、ドキュメントの内容を構造化して表したマップです。各ノードは元の下線部分と対応づけられており、文章内容の構造的な理解を支援します。

特徴3) ナレッジマップから引用できるレポート機能

ナレッジマップの各ノードに含まれるテキストを引用しながらレポートを書くことができます。

特徴4) ネットワークを介したコメント機能

専用サーバー(EJS: eJournalPlus Server)または Windows Live スペース(Windows Live@edu)を介して、ナレッジマップとレポートを他のユーザーと共有し、コメントを付加できます。本機能により、オンラインのユーザー間の相互コメント活動を支援します。

1.3. 免責事項

本ソフトウェアは現状有姿にてライセンスされます。本ソフトウェアの使用に伴う危険は、すべて使用者が負うものとします。コントリビューターからの明示的な保証または条件は一切ありません。使用地の法律に基づき、本ライセンスでは変更できないその他の消費者の権利が存在する場合があります。使用地の法律に基づいて許可される範囲で、コントリビューターは、商品性、特定目的に対する適合性、非侵害について、黙示的な保証を否定します。

(本ソフトウェアのライセンスに関する詳細は <http://www.codeplex.com/eJournalplus/license> (英語のみ)をご覧ください)

2. 使用準備

2.1. 本ソフトウェアが利用できるオペレーティングシステムについて

eJournalPlus は、Windows XP または Windows Vista のオペレーティングシステム上で使用できます。これ以外のバージョンのオペレーティングシステム上では動作は保証されません。

2.2. (eJournalPlus をインストールする前に) .NET Framework 3.5 SP1 のインストール

eJournalPlus を使用するには、「Microsoft .NET Framework 3.5 SP1」が事前にインストールされている必要があります。ご使用のコンピュータに、.NET Framework 3.5 SP1 がインストールされていない場合は、以下の URL からダウンロードしてインストールを行ってから eJournalPlus 本体のインストールを行ってください。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=ab99342f-5d1a-413d-8319-81da479ab0d7&displaylang=ja>

2.3. eJournalPlus のインストール

ダウンロードしたファイルにある実行ファイル(.exe)をダブルクリックすればソフトウェアが起動します。

2.4. eJournalPlus のアンインストール

eJournalPlus が入ったフォルダを削除してください。

2.5. XPS ドキュメントの作成（「Microsoft PDF/XPS 保存アドイン」のインストール）

本ソフトウェアでは、XPS (XML Paper Specification) 形式のドキュメントファイルを開いて読解活動を行います。XPS ファイルは Microsoft Word 2007 の「Microsoft PDF/XPS 保存アドイン」をインストールすることで、Word 上から作成できます。本アドインをまだインストールしていない場合は、以下の URL からアドインをダウンロードしてインストールを行ってください。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=4D951911-3E7E-4AE6-B059-A2E79ED87041&displaylang=ja>

上記アドインのインストールが完了すれば、以下の手順に従って XPS ファイルを作成することができます。

なお、本ソフトウェアでは、“図”はテキストと区別して認識しますが、“表”は認識できません。表を認識させたい場合は、Word 上で図として保存してから XPS に変換してください。



図 3： Word 2007 Office ボタン



図 4： XPS の指定

【XPS ドキュメントファイルの作成手順】

手順 1)

Word 2007 を起動し、画面左上にあるオフィス ボタンから「名前を付けて保存」→「PDF または XPS」を選択してください(図3)。

手順 2)

ダイアログが表示されたら保存先フォルダに移動し、ファイルの種類を「XPS 文書(*.xps)」としてファイルを保存すれば、XPSドキュメントファイルが作成されます(図4)。

3. 各機能と使用方法

3.1. メイン画面

eJournalPlus のメイン画面は、画面左上にあるメニューボタン(M ボタン)、その右側にあるツールボックス、ドキュメントエリア、ナレッジマップエリア、レポートエリア(ドキュメント・タブの右側をクリックして切り替えを行う)で構成されます(図6、7)。

各部位の詳細については、下表を参照してください。

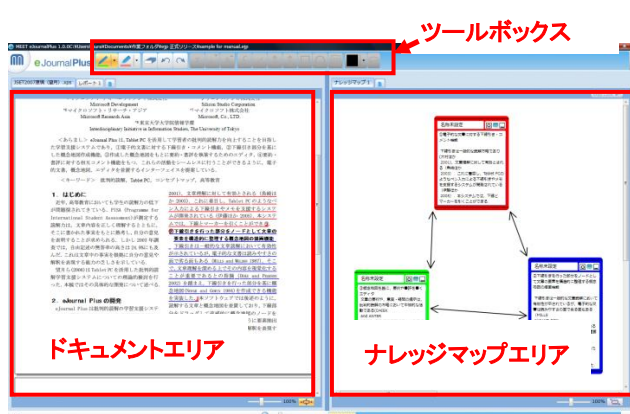


図6：メイン画面（ドキュメント&ナレッジマップ）

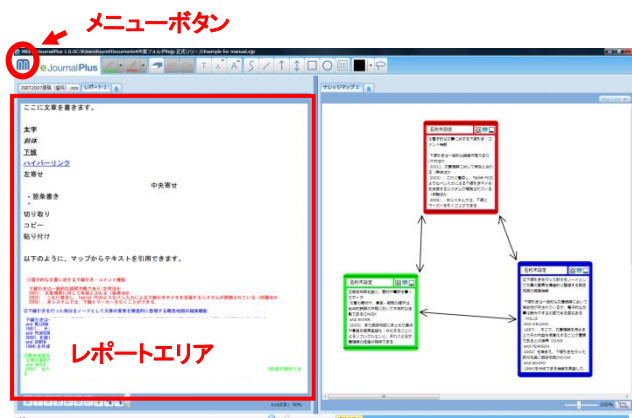


図7：メイン画面（レポート&ナレッジマップ）

名称	説明
メニューボタン (M ボタン)	ファイルの「新規作成」、「開く」、「保存」、「公開」、「読み込み」、「書き出し」、「印刷」などの操作を行います。
ツールボックス	ドキュメントエリアやナレッジマップ上で使用する各種ツールを選択します。
ドキュメントエリア	XPSドキュメントファイルの文章を読みながら、文中のテキストに下線引き(ペン線またはマーカー線)およびコメントの付加が行えます。また、下線部分を画面右のナレッジマップエリア上にドラッグ&ドロップすることで、マップ上に下線部分と同様のテキストを含んだノード(テキストボックス)を作成できます。
ナレッジマップエリア	テキストボックスや直線/矢印、四角/楕円などの図形、自由描画(手書き)を使ってマップを作成できます。また、ドキュメントエリアから生成したノードを移動、変形することができます。さらに、マップ上のノードをレポートエリアへドラッグ&ドロップすることで、ノードに含まれるテキストをレポートに引用できます。
レポートエリア	ドキュメントエリア上部にあるレポートタブ(レポート1)を押すことで画面がレポートに切り替わります。ここでは、マップ上のノードに含まれるテキストを引用しながら文章を編集できます。
スケーリングバー	左右にドラッグ移動することで両エリアの幅を調整できます。
虫めがねボタン	虫眼鏡のように特定の部分を拡大して表示できます。ボタンの右にあるバーを左右に動かすことで拡大率を調整できます。
スタディ切り替えタブ	現在表示しているスタディをここから切り替えます(詳しくは p.13 を参照)。

3.2. ejp ファイルとスタディについて

eJournalPlus では、ドキュメントとナレッジマップ、レポートで構成されるセットを「スタディ」と呼び、単一または複数のスタディを1つの ejp ファイルに保存できます。また、1つのスタディに複数のドキュメント、ナレッジマップ、レポートを追加することも可能です。

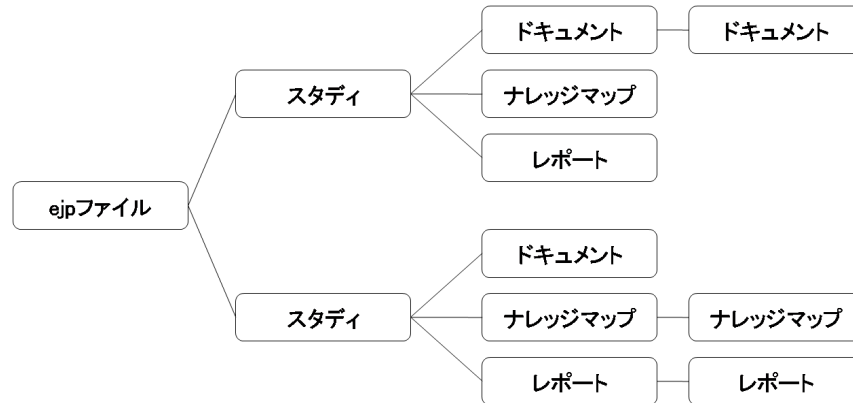


図8：スタディのファイル構造

3.3. メニューボタン

メイン画面の左上にあるメニューボタン(M ボタン)を押すと次のメニューが表示されます(図9)。



図9：メニュー

名称	説明
新規作成	新たな ejp ファイルを作成します。 「ローカル PC」(ご使用中のコンピュータ)から XPSドキュメント ファイルを選択するか、「公開サーバー」へログインして XPSドキュメント ファイルを選択してファイルを作成します。
開く	既存の ejp ファイルを開きます。 「このコンピュータのファイル(ふつうに開く)」からファイルを開くか、「公開サーバー」へログインしてファイルを開きます。 ※「(コメントモードで開く)」については p.19 を参照
上書き保存	現在開いている ejp ファイル内容を、元のファイルに上書き保存します。
名前を付けて保存	現在開いている ejp ファイルの内容を、新たな ejp ファイルを作成して保存します。
公開	あなたが Windows Live スペースのアカウントをお持ちであれば、現在表示されているナレッジマップとレポートをスペース上のブログにアップロードできます(詳細は p.15 を参照)。
読み込み	現在開いている ejp ファイルに、新たな XPSドキュメントや別の ejp ファイルを読み込んで追加します。 「ナレッジマップのガイドの読み込み」からは、画像ファイル(.png)をナレッジマップの背景画像として読み込みます。 「画像ファイルの読み込み」からは、画像をノード(テキストボックス)に読み込みます(詳細は p.16 を参照)。
書き出し	現在表示されているナレッジマップやレポートを別のファイル形式で出力します。 「レポートの書き出し」からレポートをリッチテキスト形式(.rtf)で、「ナレッジマップの書き出し」からはマップを画像形式(.png)で保存できます。
印刷	現在開いているレポート、ナレッジマップを印刷できます
機能設定	「公開サーバー」へアクセスするには、ここに eJournalPlus Server のアドレスを入力します。サンプルサーバーにアクセスするには、 http://133.11.55.170:80/EJS/PublicService と入力してください。ユーザー名とパスワードはともに「sample」です。
このソフトウェアについて	バージョン情報や著作権情報を表示します。
閉じる	現在開いている ejp ファイルを閉じます。 「このファイルを閉じる」から編集中的のファイルのみを閉じます。全てのウィンドウを閉じるときは「eJournalPlus の終了」を選択してください。

3.4. ツールボックス

ツールボックスにある各機能については以下の表をご覧ください。

ボタン	名称	詳細
	ペン線	ドキュメントエリアのテキストにペン線を引きます。ボタン右側の▼矢印から線の色を選択できます。
	マーカー線	ドキュメントエリアのテキストにマーカー線を引く際に使用します。ボタン右側の▼矢印から線の色を選択できます。
	消しゴム	ペン/マーカー線やナレッジマップ上のオブジェクトを削除します。
	Undo	直前の操作をキャンセルします。
	Redo	直前の Undo をキャンセルします。
	テキストボックス	ナレッジマップ上にテキストボックスを作成します。作成後、テキストの内容を編集します。
	フォントサイズ 変更(小)	選択されているオブジェクトの文字サイズを小さくします。
	フォントサイズ 変更(大)	選択されているオブジェクトの文字サイズを大きくします。
	自由描画	手描き入力を行います。
	直線	直線を引く際に使用します。直線の始点から終点までドラッグすることで、自動的に直線が引かれます。
	矢印(片側)	矢印(片側)を引く際に使用します。直線ツールと同様に始点と終点の間に矢印が引かれます。
	矢印(両側)	矢印(両側)を引く際に使用します。直線ツールと同様に始点と終点の間に矢印が引かれます。
	長方形	長方形を描く際に使用します。
	楕円	楕円を描く際に使用します。
	セルフノート	自分のコメントを入力できるノード(黒色)を作成します。
	カラーパレット	右側の▼矢印から、ナレッジマップ上のオブジェクトの色を選択/変更します。
	投げ縄	ペン(マウス)をドラッグしたまま、ナレッジマップ上のオブジェクトの周りを囲み、オブジェクトを選択します。複数のオブジェクトを同時選択することもできます。

3.5. ドキュメントエリアでの下線引き

ドキュメントエリアでは、読み込んだ XPS ドキュメントのテキストにペンやマーカーで下線を引くことができます。また、各下線にはコメントを付加することができます。

1. はじめに

近年、高等教育においても学生の読解力の低下が問題視されてきている。PISA (Programme for International Student Assessment) が測定する読解力は、文章内容を正しく理解するとともに、そこに書かれた事実をもとに熟考し、自分の意見を表明することが求められる。しかし、2003 年調査では、自由記述の無答率の高さは 24.9%にも及んだ。これは文章中の事実を根拠に自分の意見や解釈を表現する能力の乏しさを示している。

望月ら(2006)は Tablet PC を活用した批判的読解学習支援システムについての理論的検討を行った。本稿ではその具体的な開発について述べる。

2. eJournal Plus の開発

eJournal Plus は批判的読解の学習支援システムとして開発中であり、次のような機能を持つ。

① 電子的な文書に対する下線引き・コメント機能

下線引きは一般的な読解方略であり(大村ほか

図 10：下線を引く



図 11：下線の色を変更する

1. はじめに

近年、高等教育においても学生の読解力の低下が問題視されてきている。PISA (Programme for International Student Assessment) が測定する

図 12：下線の長さを調整する

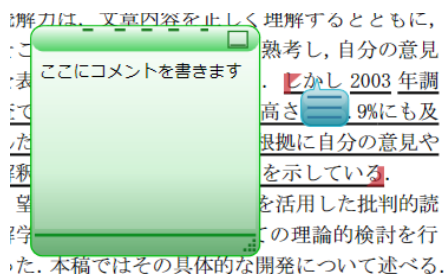


図 13：下線にコメントを付加する

【テキストに下線を引く】

ツールボックスから[ペン線]または[マーカー線]を選んでから下線を引きたいテキストの上をマウス(ペン)でドラッグ移動します(図 10)。

【下線の色を変更する】

ツールボックス右側にある▼矢印を押すとカラーパレットが開き、色を選択/変更することができます。なお、ペン線(マーカー線)を選択中はペン線(マーカー線)の色しか変更できません(図 11)。

【下線の長さを調整する】

下線をクリックすると出てくる、両端に表示されている矢印をドラッグ移動することで、下線の長さを調整できます。なお、ペン線(マーカー線)を選択中はペン線(マーカー線)の長さしか変更できません(図 12)。


【下線を削除する】

ツールボックスから消しゴムツールを選び、削除したい下線をクリックする、あるいは選択してから消しゴムツールを押すと削除できます。なお、ペン線(マーカー線)を選択中はペン線(マーカー線)しか削除できません。

【下線にコメントを付ける】

下線を右クリックして表示されるウィンドウの”Add Comment”を選択するとコメントウィンドウが表示され、コメントを付加できます(図 13)。

【ドキュメントエリアを拡大・縮小する】

エリア右下の拡大・縮小バーを使ってドキュメントの大きさを調整できます。また、をクリックして ON にすると、ドキュメント全体の大きさが枠に沿って自動調整されます。

3.6. ナレッジマップエリアでの下線部分の構造化

ナレッジマップエリアでは、ドキュメントエリアで下線を引いたテキストをノード(テキストボックス)に変換し、それらを矢印で関連づけたり、コメントを付加したりすることで、文章内容を構造的に整理できます。

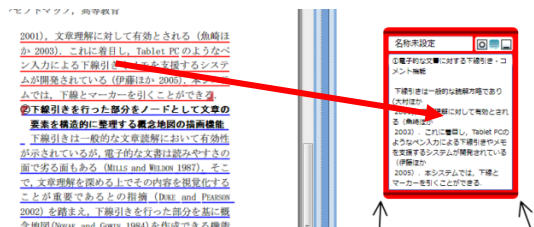


図 14：下線→ノードへの変換

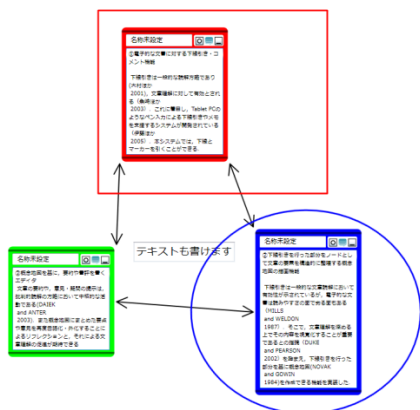


図 15：図形やテキストの挿入

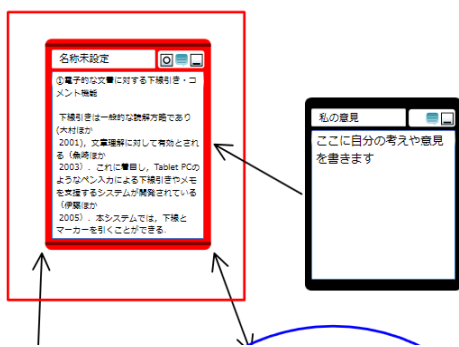


図 16：セルフノード

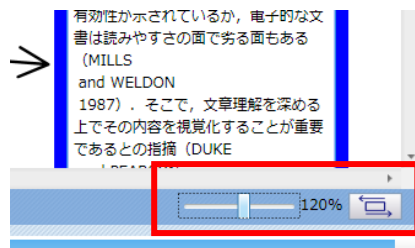


図 17：マップの拡大・縮小

【ノードへの変換手順】

手順 1)

ドキュメント上の下線をクリックしたまま、画面右のナレッジマップ上にドラッグ&ドロップします(図 14)。

手順 2)

ドラッグ&ドロップが成功すれば、下線と同じ色のノードが生成されます。また、ノードウィンドウの上部では、タイトルの付加やウィンドウの開閉を行うことができます。

【図形やテキストを挿入する】

ツールボックスから直線や矢印、テキストツール等を選択し、マップ上にそれらを挿入できます。自由描画ツールでは、手書き入力が行えます(図 15)。

【ノードや図形オブジェクトを移動、サイズを変更する】

ツールボックスから投げ縄を選択し、マップ上のノードや図形の移動、サイズ変更を行うことができます。

【セルフノードを使って自分の意見を挿入する】

セルフノードを使うことで、自分の意見をノードに関連づけることができます(図16)。

【マップエリアを拡大・縮小する】

マップエリア右下にある拡大・縮小バーを左右に移動することで、マップの拡大率を調整できます(図 17)。

3.7. レポートエリアでの文章編集

レポートエリアでは、文章を書くことができます。レポートエリア下部にある編集ツールボックスから、文章中のテキストに太字や中央寄せ、切り取り、コピー、貼り付けといった基本的な編集機能を使用できます。また、マップ上のノードに含まれるテキストを文章中に引用することができます。

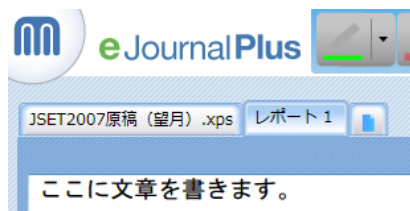


図 18：レポートタブへの切り替え



図 19：レポートの編集



図 20：Map Lock ボタンを ON にする

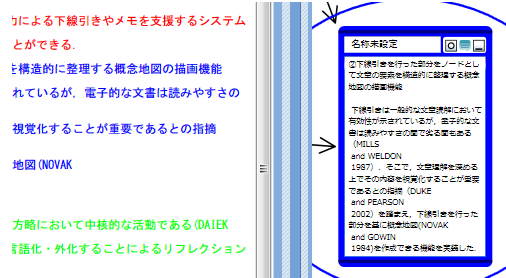


図 21：ノードのテキストを引用する

【レポートエリアを開く】

ドキュメントエリアの上部にあるレポートタブ(レポート1)を押すと画面がレポート編集画面に切り替わります(図 18)。

【レポートエリアで文章を書く】

文章を書くことができます。レポートエリア下部にある編集ツールボックスを使うことで、太字や斜体、左寄せなどの装飾が行えます(図 19)。

【マップ上のノードからテキストを引用する】

以下の手順で、マップ上のノードに含まれるテキストを文章中に引用できます。




手順 1)

マップエリア右上にある「Map Lock」ボタンをクリックして ON にします(図 20)。

手順 2)

引用したいノードをクリックしたまま、レポートエリア上の引用先部分にドラッグ&ドロップすると、ノードと同じ色でテキストが挿入されます(図 21)。

※引用したテキストの一部分を編集・削除することはできません。

ボタン	名称	説明
	太字	選択部分のテキストを太字にします。
	斜体	選択部分のテキストを斜体にします。
	下線	選択部分のテキストに下線を追加します。
	ハイパーリンク	選択部分のテキストにハイパーリンクを追加します。 (「Ctrl」ボタンを押しながらリンクをクリックすると、リンク先にジャンプします)
	左寄せ	選択範囲のテキストを左側に寄せます。
	中央寄せ	選択範囲のテキストを中央に寄せます。
	箇条書き	選択範囲のテキストを「箇条書き」にします。
	切り取り	選択範囲のテキストを「切り取り」ます。
	コピー	選択範囲のテキストを「コピー」します。
	貼り付け	カーソルの位置に「切り取り」または「コピー」したテキストを貼り付けます。

3.8. ナレッジマップとレポートの公開手順

あなたが Windows Live スペース (Windows Live@edu) のアカウントをお持ちであれば、現在開いているナレッジマップとレポートを自分のスペース上のブログにアップロードすることができます。本機能を利用することで、他のユーザー同士でマップとレポートを共有し、相互コメント活動を行うことができます。

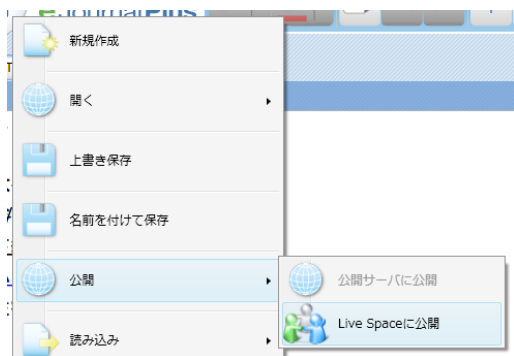


図 22 : Live Space に公開する

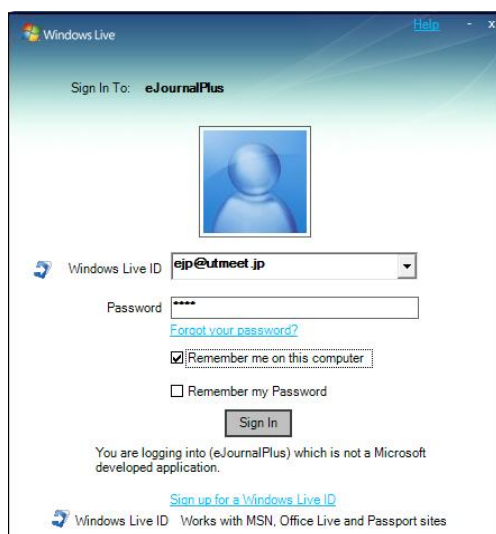


図 23 : ログイン画面

【公開の手順】

手順 1)

メイン画面左上のメニューボタンから「公開」→「Live Space に公開」を選択します(図 22)。

手順 2)

Windows Live のログイン画面(英語のみ)が表示されたら、ご自分の Live ID と Password を入力して「Sign In」を押します(図 23)。

手順 3)

正常にアップロードが成功すると、インターネットエクスプローラー (IE) が起動し、アップロードした内容を確認できます。

※Windows Live スペースへ公開する際の注意点

①公開機能を利用するには Windows Live アカウントが必要です。ID をお持ちでない方は、以下の URL をご覧ください。

<http://promotion.live.jp/id/signup.htm>

②アップロード先のスペースの URL が設定されている必要があります。詳しくは以下のリンクの「STEP 3」をご覧ください。

<http://promotion.live.jp/spaces/quickstart.htm>

※既にスペースを作成済みで URL の指定を行っていない方は、スペース上の[オプション]→[スペース設定]から URL を指定できます。

③ナレッジマップの画像をアップロードするには、スペース上のフォトに少なくとも1つのアルバムを作成する必要があります。詳しい手順については以下の URL の「写真を投稿する」をご覧ください。

http://promotion.live.jp/spaces/guide_1-2.htm

3.9. 追加の XPS ドキュメントや ejp ファイルの読み込み手順

メイン画面の左上にあるメニューボタンの「読み込み」から、現在開いている ejp ファイルに新たに XPS ドキュメント、ejp ファイルなどを追加できます(図 24)。

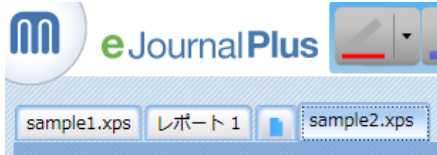


図 24 : ドキュメント切り替えタブ



図 25 : スタディ切り替えタブ

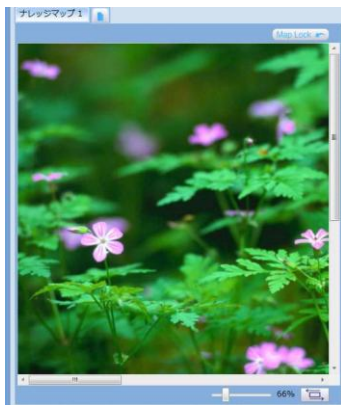


図 26 : マップにガイド (背景画像) を読み込む

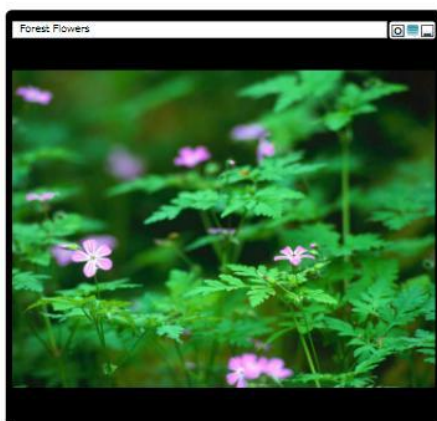


図 27 : ノードに画像を読み込む

【XPS ドキュメントを読み込む】

ドキュメントエリアに新たに XPS ドキュメントを追加します。ドキュメントエリア上部にあるタブを押すことで各ドキュメントの画面を切り替えることができます(図 24)。

【別の ejp ファイルを読み込む】

現在開いている ejp ファイルに別の ejp ファイルを読み込みます。読み込み後は、マップ下部にある「スタディ切り替えタブ」でスタディを変更できます(図 25)。

【ナレッジマップのガイドの読み込み】

現在表示されているマップ上にガイド(背景画像)を挿入します(図 26)。

【ナレッジマップのガイドの削除】

上記で読み込んだガイドを削除します。

【画像ファイルの読み込み】

マップ上に画像ファイルをノードとして挿入します(図 27)。

3.10. ナレッジマップ間およびスタディ間のノードコピー

ejp ファイルのナレッジマップ間、スタディ間でノードのコピーを行うことができます。

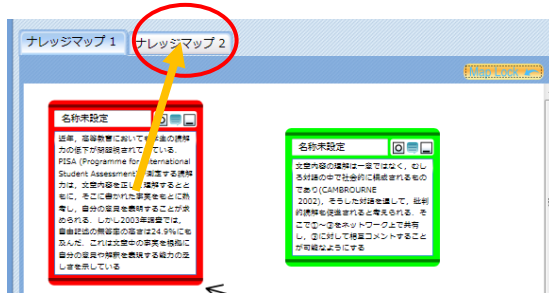


図 28：マップ間でノードをコピーする

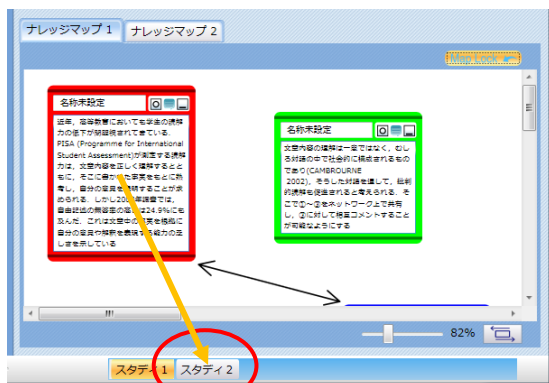


図 29：スタディ間でノードをコピーする

【マップ間のコピー手順】

手順 1)

マップエリア右上にある「Map Lock」ボタンをクリックして ON にします (図 28)。

手順 2)

コピーしたいノードをドラッグしたまま、カーソルをマップエリア上部のマップ タブ上に移動すると、マップが切り替わります。

手順 3)

ノードをドラッグしたままコピーしたい位置に移動して離すとノードがコピーされます。

【スタディ間のコピー手順】

手順 1)

マップエリア右上にある「Map Lock」ボタンをクリックして ON にします (図 29)。

手順 2)

コピーしたいノードをドラッグしたまま、カーソルをマップエリア下部のコピー先のスタディ切り替えタブ上に移動すると、スタディが切り替わります。

手順 3)

ノードをドラッグしたままコピーしたい位置に移動して離すと、ノードがコピーされます。

3.11. コメントモードを利用した相互コメント活動（ローカル）

保存した ejp ファイルをコメントモードで開くと、ナレッジマップ上にコメントを付加することができます。このモードで開いた場合、マップやレポートの編集は行えず、コメントのみ編集できます。本機能により、コメントを付けた ejp ファイルを他のユーザーと交換して相互コメント活動を行えます。



図 30 : コメントモードで開く

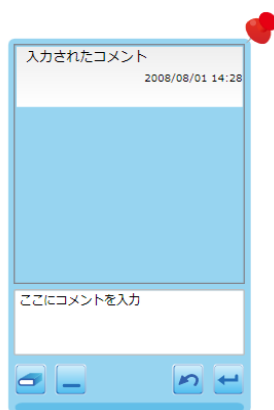


図 31 : プッシュピン型コメント

【ejp ファイルをコメントモードで開く】

メニューボタンから「開く」→「このコンピュータのファイル(コメントモードで開く)」を選ぶとアサイメントがコメントモードで開きます(図 30)。

【ナレッジマップにコメントを追加する】

ツールバーにある「プッシュピン・ボタン」を ON にした状態で、マップエリア上の任意の場所でクリックすると赤いピン(プッシュピン)とコメントウィンドウが表示されます(図 31)。入力エリアにコメント内容を入力し、右下のリターンボタンを押すとコメントが追加されます。

※同じコメント ウィンドウにコメントを追加することも可能です。

【コメントウィンドウの位置を移動する】

コメントウィンドウの位置を移動したい場合は、赤いピンをドラッグ移動してください。なお、他人が追加したコメントウィンドウは移動できません。

【コメントを削除する】

コメントを削除したい場合は、コメントウィンドウの左下の消しゴムボタンを押します。なお、他人のコメントを削除することはできません。

【コメントを保存する】

通常のファイルと同様に保存すれば、cejp ファイルとしてローカルに保存できます。

【通常のファイルに変換する】

ツールバーの「テキスト切り替え」ボタンを押すことで、コメントモードで開いたファイルを通常モードに切り替えることができます。ただし、それまでのコメントはすべて失われます。

3.12. EJS サーバーを介した相互コメント活動

EJS サーバーに接続できる環境の場合、公開された ejp ファイルに対してより効率的なコメント活動が行えます。

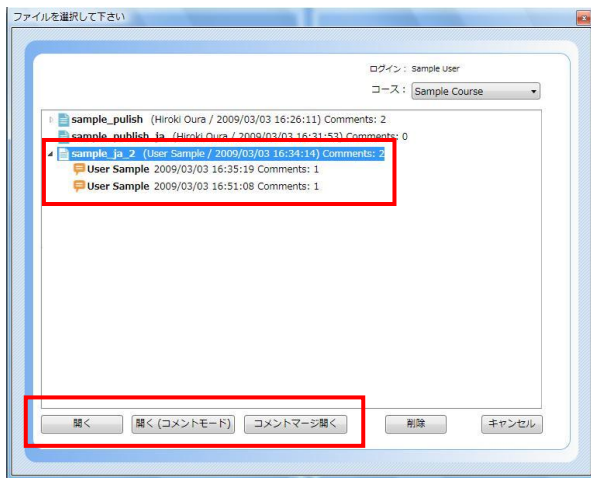


図 32 : 公開サーバーのファイル選択画面

【ejp ファイルをコメントモードで開く】

M メニューの「開く」→「公開サーバーのファイル」からサーバーに接続し、「開く (コメントモード)」を選ぶことでファイルをコメントモードで開くことができます (図 32)。また、「コメントマージ開く」を選択することで元ファイルへの複数のコメントファイルを1つにまとめて (マージして) 開くこともできます。

【ナレッジマップにコメントを追加する】

マップエリア上の任意の場所でクリックすると赤いピン (プッシュピン) とコメント ウィンドウが表示されます (図 31)。入力エリアにコメント内容を入力し、右下のリターンボタンを押すとコメントが追加されます。

※同じコメント ウィンドウにコメントを追加することも可能です。

【コメントウィンドウの位置を移動する】

コメントウィンドウの位置を移動したい場合は、赤いピンをドラッグ移動してください。なお、他人が追加したコメントウィンドウは移動できません。

【コメントを削除する】

コメントを削除したい場合は、コメントウィンドウの左下の消しゴムボタンを押します。なお、他人のコメントを削除することはできません。

【コメントを保存する】

メニューボタンから「公開」→「公開サーバー」を選ぶと、自動的にサーバー上の元ファイルに関連付けがされて保存されます。

4. トラブル シューティング

4.1. 使用中にアプリケーションが停止してしまった

予期せぬエラーでアプリケーションが停止した多くの場合、「編集された項目を保存しますか？」と表示されますので「はい」を選んでアプリケーションを閉じた後、もう一度ファイルを開いてください。

4.2. ejp ファイルが壊れて開けない

予期せぬエラーでアプリケーションが停止した後、ファイルが壊れて開けなくなってしまうことがあります。そのような場合は、[ユーザー]フォルダ内にある、ご使用中のアカウント名のフォルダを開き、[AppData]→[Local]→[Meet]→[eJournalPlus]→[AutoSave]フォルダへ移動し、「AutoSaveEjp...ejp」という自動保存されたファイルをデスクトップ等の適当な場所にコピーしてから開いてください。(「AppData」フォルダを表示するには、[コントロールパネル]→[フォルダ設定]内の「すべてのファイルとフォルダを表示する」にチェックを入れてください)

4.3. XPS ドキュメントを開けない（読み込めない）

XPS ドキュメントを作成する際は、必ず「2.4 XPS ドキュメントの作成」(p.6)で説明した手順に沿って Word ファイルの変換を行ってください。上記方法以外で作成した XPS ドキュメントについては本ソフトウェアが正しく読み取れない場合があります。

4.4. ejp ファイルが入ったフォルダを移動できない

本ソフトウェアを終了した後、保存したアサイメントの ejp ファイルが入ったフォルダを移動できない場合があります。この問題を解決するには、[タスクマネージャ]を起動して[プロセス]内の conime.exe を終了するか、[コンピュータの再起動]を行ってください。

4.5. Windows Live スペースに公開してもナレッジマップの図がアップロードされない

マップの画像を Windows Live スペースのブログにアップロードするにはスペース側でいくつかの設定を行う必要があります。詳しい内容については「3.8 ナレッジマップとレポートの公開手順」をご覧ください。稀に公開がうまくいかない場合がありますが、その場合は時間を置いて再度公開してみてください。

4.6. レポートの印刷が画面上の表示と異なる

レポートを印刷する際、画面の表示と異なって印刷されてしまうことがあります。

4.7. コンピュータをスリープ後にエラーメッセージが表示される

コンピュータをスリープした後に、エラーが表示されることがあります。このような場合は保存してソフトウェアを再起動して下さい。